

<主催>  社団法人
日本温州總商會
Wenzhou Chamber of Commerce in Japan <後援>  社団法人
日本住宅建設産業協会

日本温州總商會プロデュース「住宅フェア第2弾」

平成23年7月30日(土)開催

東日本大震災・災害支援チャリティーイベント

「日本の住まいを元気にする不動産フェア」

のご提案

(1)はじめに

「日本の住まいを元気に！」

「今、わたしたちができること」



東日本大震災の影響。

周知の事実ではありますが、建物や地盤の倒壊という直接的被害だけでなく、津波、液状化、そして放射能汚染という未曾有の被害が、計り知れない影響をもたらしています。

今もなお断続的に余震が続くなか、

「タワーマンションは怖い…」「沿岸部は怖い…」といった不安が、
「今、住宅を購入するのはやめておこう」という心理的作用をはたらかせ、
市場では、「契約キャンセル」をはじめ「買い控え」が顕在化しています。

在日外国人の大半が帰国するという事態にもなりました。

さらに首都圏の建築現場では、住宅建材不足などから、工事延期・ストップも相次いでいるようです。

震災の影響は、すでに“不動産市場の停滞”を引き起こしているのです。



しかしながら、こんな状況でも、新しい住まいを求める方々はいらっしゃいます。
そんな、方々の

「今、買っていいのかわからない」
「買いたいけど、買えない」

という不安を少しでも解消したい。

それが、日本の不動産に注目してきた私たちが今、できることだと考えています。

本イベントでは、日本人約300人、中国人約300人、合計600人超の来場予約取得をめざします。

(2) イベント企画方針

「今、わたしたちにできること」

日本の不動産購入支援イベントを実施してきた経験と実績を活かし、
震災復興へと動き出している今だからこそできるイベントを…。

日本で不動産を購入したいと考えているすべての方の疑問や不安を解消し、
日本の不動産市場の活性化に寄与する

「住宅フェア 第2弾」を開催します。

これまで協賛企業1社限定のセミナー、そして協賛企業を複数社に拡大してスケールアップした「住宅フェア」と開催し、
不動産購入への支援イベントとしてのノウハウを少なからず蓄積してまいりました。

今、このタイミングで実施すべきイベントとは…。

それは、“中国人向け”というスタンスで一貫してきた概念を捨て、わたしたちが理念として掲げてまいりました

「日本の不動産市場の活性化」という原点に立ち返り、すべての方々に理想の住まいをご購入いただけるためのイベントを考えています。

前回の住宅フェアの成功実績をさらに進展させ、さらなるスケールアップをめざした住宅フェアを開催いたします。

「本趣旨にご賛同いただいた(社)日本住宅建設産業協会が後援」

後援



社団法人 日本住宅建設産業協会

より公平でパブリックなイベントをめざします。

(3) イベント意義

「今回のイベントを開催する意義は、3つあります」

1

「すべての方々が対象」

日本温州総商會のイベントは、これまで在日中国人を対象にしてきましたが、今回の目的を鑑みると、住まいの購入に不安を感じている人は中国人だけではなく、日本の方々にも数多くいらっしゃいます。従いまして、今回のイベントは、在日中国人対象という枠をはずして、日本の方々にも広くご参加いただけるものとします。

2

「復興支援チャリティーイベント」

イベントを開催することによって、直接的な震災復興支援にもつなげたい、そして、たくさんの人にこのイベントの存在を知ってもらいたいというねがから、今回のイベントは、震災復興支援チャリティーイベントと位置づけ、イベント参加者一人につき1,000円を主催者より石巻市へ寄付するという条件で開催いたします。

イベント当日は、中国・温州市、石巻市、両市職員の方々をご招待します。(予定)

3

「協賛企業の物件販売促進」

日本の不動産市場の活性化に寄与すること。そのためには、“本イベントが日本の不動産企業の利益へとつながる場”となることが望まれます。住まいを買いきたいという意識を持っている(であろう)参加者とフェイストゥーフェイスで接する機会をつくり、さまざまな講演などイベントの演出によって、住宅購入に対する不安を少しでも解消し、需要を喚起した状態で、協賛いただいた企業様それぞれの個別ブースに参加者がアプローチできるようにします。